

# 南小だより

佐世保市立吉井南小学校  
No.39 R. 5. 3. 14 (火)  
文責：山口伸一郎

いよいよ年度末が迫ってきました。

3月に入り、早くも2週間以上経過し、あっという間に令和4年度も終了しようとしています。新型コロナウイルスの感染状況も一定の落ち着きを見せ、明後日の卒業式は、2年ぶりに全ての学年が揃って卒業生の門出を祝うことができ、本当に嬉しく思います。

今年度も残りがおよそ10日程度となってきていますが、現在子どもたちは、卒業式に向けての準備を進めると同時に、学習・生活についても一年のまとめに向けて、それぞれにめあてをもって取り組んでいます。学習においては、12月に実施した各学年の学力テストの結果について分析を行い、今年度の学習の振り返りに生かすべく取り組んでいます。

国語・算数ともに全国平均に届いていない点は課題ですが、同一集団におけるここ数年の経年変化については、国語を中心に点数の伸びが見られる学年が多くあり、学習規律の定着とともに、昨年度同様に子どもたちのがんばりが成果となって表れてきていることを実感しています。今後もご家庭のご協力をいただきながら、この成果を次年度にしっかりとつなげていけるように努力を重ねていかなければならないと、教職員一同思いを一つにしているところです。

学力の向上・定着を図っていくためには、学習規律とともに学習習慣の定着もとても大切であると考えます。「授業中に先生の話や友だちの考えをしっかりと聞いて、学びを深めることができるか」、「学習に必要な用具がきちんと整備され、忘れ物はないか」、「学びの理解を深めるべく、家庭においてめあてをもって学習に取り組むことができているか」等、学習規律や学習習慣の定着については、学校と家庭が共に声をかけ合い、協力して指導しなければ、なかなか身につけることができないと考えます。そして、この点については、今も昔も変わらない、普遍的なものであると思います。新しい学年のスタートが迫っているこの時期に、私たち大人も再度振り返りを行い、あらためて子どもたちの指導に生かしていけたらと思います。これからも、より一層充実した教育活動が展開できるよう引き続き努力してまいりますので、今後とも、ご家庭のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



<「書写の時間（硬筆）の様子（4年生）」>

「あいさつ」、「はきものそろえ」も振り返りを行いましょ。

先日から開催されています「学校支援会議」、「学校保健委員会」、「吉井地区生活指導連絡会」等の、様々な学校関係者が参加される会議におきまして、地域の方から「以前よりもずいぶんあいさつがよくなりましたよ。」というお声をかけていただく機会が続き、本当に嬉しく思っています。もちろん、まだまだ満足できるものではないと感じていますが、それでも、「自分から進んで、大きな声で」あいさつできる児童が少しずつ増えていることは実感しています。

本校では、「あいさつ」と「はきものそろえ」については、『凡事徹底』の重点目標として3年前から全校一斉に取り組み、機会を捉えては子どもたちに話を続けています。この2点とおして、自分を見つめ、「落ち着いた学校生活につなげる」ことが大きな目的です。どちらも、日々の積み重ねによる定着を感じるころまでできていますので、今後もぜひ継続し、より一層充実した学校生活につなげてほしいと願っています。

そして、ある会議で地域の方がおっしゃった「大人もがんばらね。」という一言を実践すべく、私たち大人も子どもたちに負けないようにしなければいけないという気持ちをもって取り組んでいきたいものだと思います。

